

平成19年度 定期作況報告

(8月20日現在)

北海道立畜産試験場

新得本場

I. 気象概況

7月下旬：気温は平年比-0.9℃でやや低かった。降水量は平年比 115%で平年並みだった。日照時間は平年比 120%で平年並みだった。

8月上旬：気温は平年比+1.0℃でやや高かった。降水量は平年比 112%で平年並みだった。日照時間は平年比 69%でかなり少なかった。

8月中旬：気温は平年比+3.5℃でかなり高かった。降水量は平年比 35%でやや少なかった。日照時間は平年比 212%でかなり多かった。

以上本期間の気象は、気温は7月がやや低かったものの8月はかなり高くなった。降水量は平年並みで推移したが、8月中旬にやや少なくなった。日照時間は周期的に変化し、期間合計ではかなり多くなった。

	7月下旬			8月上旬			8月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 (℃)	18.4	19.3	△0.9	21.5	20.5	1.0	21.7	18.2	3.5
最高気温 (℃)	23.4	23.9	△0.5	25.8	24.7	1.1	26.9	22.3	4.6
最低気温 (℃)	13.4	15.8	△2.4	17.2	16.6	0.6	16.3	14.9	1.4
降水量(mm)	51.5	44.9	6.6	75.0	66.9	8.1	21.5	62.1	△40.6
降水日数(日)	5	5.1	△0.1	7	4.8	△2.2	4	4.7	△0.7
日照時間(時間)	53.2	44.5	8.7	26.5	38.6	△12.1	69.4	32.7	36.7

注1. 各数値は旬の平均または合計。△印は減を示す。

注2. 平年値は前10か年の平均値。ただし、平成11年11月気象システムを更新移設したため、気温の平年値については新旧データから回帰式を作成し、旧システムでの平年値を補正して用いた。その他の項目は従来のシステムでの値をそのまま用いた。

注3. 8月上旬、中旬については、気象観測システムの不具合により新得町のアメダスデータの本年値および平年値を採用した。

II. 作況

1. 牧草

1) チモシー (採草型)

作況 2番草：不良

3番草：並

事由

2番草：2番草は、生育期の7月中旬に著しい低温に遭ったため生育は著しく停滞した。草丈は2年目草地在り57cm、3年目草地在り54cmでそれぞれ平年に比べて26cm、24cmも短かった。乾物収量は、2年目草地在り205kg/10aで平年比は66、3年目草地在り138kg/10aで平年比は50であった。作況は不良である。

3番草：8月20日現在の草丈は、2年目草地在り26cm、3年目草地在り23cmで、平年に比べて1cm、3cmそれぞれ短かった。目下の作況は平年並みである。

項目	2年目草地				3年目草地			
	本年	平年	比較	比	本年	平年	比較	比
2番草								
収穫日(月.日)	8.6	8.10	△4		8.6	8.10	△4	
草丈(cm)	57	83	△26		54	78	△24	
生草収量(kg/10a)	1151	1663	△512	69	721	1439	△718	50
乾物収量(kg/10a)	205	312	△107	66	138	274	△136	50
1～2番草通算(kg/10a)	875	1010	△135	87	657	955	△298	69
3番草								
草丈(cm)	26	27	△1		23	26	△3	

注1. 平年値は前4カ年の平均値。

注2. △印は減を示す。

2) オーチャードグラス (採草型)

作況 3番草：やや良

事由

3番草：気温は、3番草の再生頃から徐々に回復し、更に8月に入って高温に経過していることから生育は良好である。20日現在、3番草の草丈は2年目草地が65cm、3年目草地が66cmで平年に比べてそれぞれ9cm、13cm長かった。目下の作況はやや良である。

項目	2年目草地				3年目草地			
	本年	平年	比較	比	本年	平年	比較	比
3番草								
草丈(cm)	65	56	9		66	53	13	

注1. 平年値は前4カ年の平均値。

注2. △印は減を示す。

2. とうもろこし

作況 並

事由

抽糸期は平年より「ワセホマレ」が1日、「39H32」が2日それぞれ早かった。稈長、葉数はほぼ平年並であった。以上から、目下の作況は平年並みと判断される。

項目	ワセホマレ			39H32		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
抽雄期(月.日)	7.28	7.28	0	8.2	8.4	△2
抽糸期(月日)	8.3	8.4	△1	8.5	8.7	△2
稈長(cm)	187	194	△7	245	236	9
葉数(枚)	14.0	14.5	△0.5	15.2	15.1	0.1

注1. 平年値の「ワセホマレ」は前7か年中、平成16年(豊)、平成18年(凶)を除いた5か年の平均値、「39H32」は前5か年の平均値。

注2. △印は早または減を示す。

滝川試験地

I. 気象概況

7月下旬：気温は平年比 -0.8°C でやや低かった。とくに最低気温が平年に比較し 1.7°C 低かった。降水量は平年比58%でやや少なかった。日照時間は平年比143%で多かった。

8月上旬：気温は平年比 $+1.0^{\circ}\text{C}$ でやや高かった。7日の夏日を記録した。降水量は平年比163%で多かった。日照時間は平年比41%で極めて少なかった。

8月中旬：気温は平年比 $+1.8^{\circ}\text{C}$ で高かった。とくに最高気温が平年に比較し 2.3°C 高かった。3日の夏日と4日の真夏日を記録した。降水量は平年比113%で平年並みであった。日照時間は平年比123%でやや高かった。

以上本期間の気象は、8月上・中旬の高温、8月上旬の多雨・寡照が特徴的であった。

	7月下旬			8月上旬			8月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ($^{\circ}\text{C}$)	20.9	21.7	$\Delta 0.8$	23.2	22.2	1.0	22.7	20.9	1.8
最高気温 ($^{\circ}\text{C}$)	26.1	25.9	0.2	26.6	26.2	0.4	27.6	25.3	2.3
最低気温 ($^{\circ}\text{C}$)	15.8	17.5	$\Delta 1.7$	19.7	18.2	1.5	17.9	16.4	1.5
降水量 (mm)	32	55	$\Delta 23$	85	52	33	27	24	3
降水日数 (日)	3	4	$\Delta 1$	7	4	3	2	2	0
日照時間 (時間)	74.0	51.8	22.2	18.4	45.3	$\Delta 26.9$	63.2	51.5	11.7

注1. 滝川地域気象観測所のAMeDAS観測値。

注2. 日照時間は太陽電池式日照計（新型）による。

注3. 平年値は前10か年の平均値。

注4. Δ 印は減を示す。

II. 作況

1. 牧草

1) オーチャードグラス・アカクローバ混播（採草型）

作況 3番草：やや良

事由

3番草：8月に入ってからからの降雨で早魃状態は解消し、オーチャードグラス、アカクローバの生育は回復した。オーチャードグラス、アカクローバの草丈は平年より高かった。作況はやや良である。

調査項目	3年目草地			
	本年	平年	比較	
3番草				
草丈 (cm)	OG	47	37	10
	RC	31	27	4

注1. OGはオーチャードグラス「キタミドリ」、RCはアカクローバ「サッポロ」の略である。

注2. 平年値は、前7か年中、平成14年（豊）、平成12（凶）を除いた5か年の平均値。

注3. Δ 印は減または早を示す。

2) チモシー・アカクローバ混播 (採草型)

作況 2番草：不良
3番草：やや良

事由

2番草：1番草刈り取り後、極端な早魃が続いたことによりチモシー、アカクローバの生育は停滞した。チモシー、アカクローバの草丈は大きく平年を下回った。生草収量は平年の17%、乾物収量は平年の24%であった。作況は不良である。
3番草：8月に入ってからからの降雨で早魃状態は解消し、チモシー、アカクローバの草丈は平年を上回った。3番草の作況はやや良である。

調査項目	3年目草地			
	本年	平年	比較	同比
2番草				
刈取月日(月日)	8. 3	8. 5	△2	
草丈 (cm)	TY	17	63	△46
	RC	18	48	△30
生草収量(kg/10a)	171	1009	△838	17
乾物収量(kg/10a)	51	215	△164	24
1～2番草通算	430	813	△383	53
マメ科率(乾物%)	15.3	18.5	△3.2	
3番草				
草丈 (cm)	TY	39	22	17
	RC	27	19	8

注1. TYはチモシー「センポク」、RCはアカクローバ「サッポロ」の略

注2. 平年値は、前7か年中、平成14年(豊)、平成12(凶)を除いた5か年の平均値。

注3. △印は減または早を示す。

3) オーチャードグラス・シロクローバ混播(放牧型)

作況 4番草：やや良

事由

4番草：8月に入ってからからの降雨で早魃状態は解消し、オーチャードグラス、シロクローバの生育は回復した。オーチャードグラス、シロクローバの草丈は平年並みであった。生草収量は平年の193%、乾物収量は平年の108%であった。作況はやや良である。

調査項目	3年目草地			
	本年	平年	比較	同比
4番草				
刈取月日(月・日)	8.17	8.18	△1	
草丈 (cm)	OG	43	43	0
	WC	25	23	2

生草収量(kg/10a)	1150	597	553	193
乾物収量(kg/10a)	146	135	11	108
1～4番草通算	582	651	△69	89
マメ科率(乾物%)	13.8	7.2	6.6	

注1. OGはオーチャードグラス「キタミドリ」、WCはシロクローバ「カリフォルニアラジノ」の略である。

注2. 平年値は、前7か年中、平成14年(豊)、平成12(凶)を除いた5か年の平均値。

注3. △印は減または早を示す。

2. とうもろこし

作況 不良

事由

6月下旬から7月下旬の極端な早魃によりとうもろこしの生育は引き続き停滞した。8月に入って早魃状態は解消したが、稈長、葉数は平年を下回った。抽雄期は平年より6日遅く、抽糸期は9日遅かった。作況は不良である。

項目	本年	平年	比較
雄穂抽出期(月日)	8.15	8.9	6
雄穂開花期(月日)	8.18	8.11	7
絹糸抽出期(月日)	8.20	8.11	9
稈長(cm)	205	252	△47
葉数(枚)	17.4	18.1	△0.7

注1. 平年値は、前7か年中、平成16年(異常年:播種期の遅れ)を除く前6か年の平均値。

注2. △印は減または早を示す

注3. 供試品種は「3845」